



平成 27 年度リーダーシップトレーニングセンター参加者 感想文（抜粋）

【小・中学校の部（小学 6 年生・女子）】

私は、1 日目に自分は、発表などを積極的にすることがあまりないなと思いました。

そして、私の目標は「たくさんの人と話して、ホームの人と協力する」でした。

私は、1 日目には、人前に出るのが嫌だったので、みんなが助かるような V S を頑張りました。

そして、3 日間の体験を終えて、友達がたくさんできたなぁと思いました。

目標のたくさん人と話すことも出来ました。そして、部屋にいる時もたくさんの人と話して、楽しめました。

（中略）

私は、これから、家に帰ったら、家族のために、私ができることを頑張りたいです。また、学校では、トレセンで学んだことを活かして、発表や人の前に立つ事を頑張ってもっと積極的に行動ができるようになりたいです。

【小・中学校の部（中学 2 年生・男子）】

僕はこのトレセンに参加する前も学級委員長や生徒会執行部など学校や学年の代表として活動してきました。ですが僕には一つ欠点がありました。それは人の話を聞かずに自分の意見ばかりを通してしまうことです。そんな自分を変えたいなと思ってこのトレセンに参加しました。

トレセンでは、A から D までのホームに分かれて活動します。そのホームが僕には新鮮で、楽しかったです。ホームの皆の意見を聞いて、そこに更に自分の意見も重ねるともっと意見が深まって、自分一人だけでなく、皆の意見も聞くことの大切さを知ることができました。

（中略）

最後に、この 3 日間一緒にいたメンバー、スタッフの方々本当にありがとうございました。今日でトレセンが終わるのは少しさびしいけれども、僕はここで多くのことを学べて良かったです。ここでの 3 日間を、僕は一生忘れないと思います。本当にありがとうございました。

【高等学校の部（高校 2 年生・女子）】

私がこの活動に参加した動機は、少しでも何か自分が変われたらという思いによるものでした。しかし、ここでは自分の予想をはるかに上回る体験ができました。

一番衝撃が大きかったのは、初対面の人と寝食を共にしなければならないことです。何も分からない状況といえど友達と一緒にあれば、それを打開するのは簡単だなと思います。

だから、自身の人見知りもあって活動前はとても不安でした。しかしいざ始めると、生活するには互いの協力で、自分の心配なんてささいなことに過ぎず気にする余裕もありませんでした。また、トレセンに参加した人と支え合うことで、助け合いの精神の重要性を強く感じました。

（中略）

今まで私は、自分を優先して行動してしまうことが多少ありました。それは、自分しか見えていない視野の狭さ、更によく言うと余裕のなさから来ています。だから、互いに協力し、相手の期待に応えられるような心がけるつもりです。そして、積極的に活動し、自身の成長を促していくとともに、社会へ奉仕し貢献しようと思います。

【高等学校の部（高校1年生・女子）】

私は今回が初のトレーニングセンター参加でした。1日目は知っている人が数少ない中自分なりに近くの人に話しかけるなど持ち前のコミュニケーション力を活かし、少しずつ新しい仲間を作ることができました。

（中略）

私にとってのこの三日間は新しい自分探しを目的に来たのが主な理由でしたが、私はそれだけでなく、協力することの大切さ、考えて行動することの難しさなど、今までには経験したことないくらい頭を働かせることができました。しかし、私が思うVSは自分で頭を動かして行動するのではなく、頭で考える前に事前に行動できることなのかなと思っています。なので来年もぜひ再びトレーニングセンターに参加し、次は初日からVSを自然と出来るようになって今よりも少しランクアップした自分を探しに来たいと思っています。

※VS…ボランティア・サービスの略 誰からも命じられることなく自ら進んで周囲の人のために役立つとする具体的な活動